地域連携室 “あざれあ” 便り　第 86 号

梅雨の晴れ間がうれしい季節になりました。
今月は、「在宅医療　診療報酬」と「がん患者さん・ご家族の体験談」をまとめた2冊の冊子について、ご報告します。

6 月

東広島地区医師会員と医療事務のための「知って得する！在宅医療」

東広島地区医師会では、地域の在宅医療を側面的に支援するために、実務者である医療事務職員を中心として2013年（平成25年）に在宅医療診療報酬検討委員会が発足しました。事務局は、地域連携室あざれあ が担っています。

同委員会では、これまで在宅医療に関する研修会の開催や、普及啓発のためのパンフレット、小冊子の作成などを行ってきましたが、この度「医療材料」や「在宅療養指導管理料」を中心にまとめた冊子が完成しました。

この冊子が、地域に暮らす人が安心して自分が望む医療を受けるための手助けになれば、と願っています。

「がんと向き合い　私らしく生きる」vol.3

「こころの駅舎」に参加するがん患者さん・ご家族の体験をまとめた小冊子『がんと向き合い　私らしく生きる』も、今回で３冊目の発行になりました。

冊子づくりのきっかけになったのは、「自分のがん体験が、誰かの参考になるかもしれないので、発表の機会を作ってほしい。」という一人のがん患者さんの言葉でした。患者さんの思いを形にするために、「こころの駅舎」では毎年4月に体験発表していただくことが恒例となりました。貴重な発表をその場限りにするのはもったいないと思い、体験発表をまとめた冊子を発行しています。この冊子は、希望者に無料でお渡ししています。興味のある方は、下記にご連絡ください。

【お問合せ】 東広島地区医師会地域連携室あざれあ　；　（TEL）082-493-7360